

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
スーパー演習 公民	2	3年2類文型	選択
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	最新政治・経済 (東京書籍)	要点マスター 政治経済(東京書籍) その他	

<p>科目の到達目標</p> <p>政治・経済の大学入試共通テスト対策として、授業および問題演習・解説を通して要点の整理を行い、実践的な問題に対応できることを目指す。</p>

<p>評価の観点と方法について</p> <p>期末考査を行う。適宜ノート・プリント等の提出・チェックを行う。</p>
--

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一 学 期	4	現代社会の諸課題	時事的内容も盛り込み、現在の国内・国際経済の動きについて理解する。	少子高齢社会と社会保障 地域社会の変貌と住民生活 雇用と労働をめぐる問題 産業構造の変化と中小企業 農業と食料問題	ノート提出 期末考査
	5	地球環境と資源・エネルギー問題		地球規模に広がる環境問題 地球温暖化 先進国と発展途上国の対立 エネルギー問題	
	6	国際協調と国際経済機関の役割 国際経済の仕組み		国際通貨制度の成立と変化 南北問題と経済協力 自由貿易の意義 国債収支の仕組み	
	7	国際経済の特質		外国為替の仕組みと外国為替相場 外国為替相場の決定 グローバル化する市場経済 地域的経済統合の動き アジア NIES と中国の経済成長	

	月				
二 学 期	9	国際経済における日本の役割		国際経済における日本 日本の経済協力 国際経済の課題と日本の役割	
	10	政治・経済分野の 実践問題演習・解 説	問題演習を通し て経済範囲の復 習と要点の整理 を行い、入試対策 を行う。	プリント教材を使った政治分野の復 習、および過去問等の実践問題演習・ 解説	
	11				
	12				ノートまたは課題提出 期末考査
三 学 期	1				

その他（ 大学等進学のための学習など ）

大学入試共通テストを倫理・政経で受験する生徒に対し、倫理分野等についての対策を行う。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
スーパー演習 (数学)	2	3年・2類・理型	選択
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	高等学校 数学III (数研出版)	青チャート 数学III+C (数研出版) REPEAT 数学III+C (数研出版) 他	

科目の到達目標
微分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する力を養う。

評価の観点と方法について
平素の学習意欲や学習態度を重要視し、数学的問題解決能力を課題テストで確認する。定期考査・課題テストの各成績、授業態度から総合的に評価する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	第4章 微分法の応用 第1節 導関数の応用 第2節 いろいろな応用	導関数を用いて、いろいろな関数の値の増減、極大・極小、グラフの凹凸などを調べグラフの概形をかいたりする。また、それらを事象の考察に活用する。	<ul style="list-style-type: none"> ・平均値の定理、関数の値の変化、関数のグラフ ・いろいろな応用 ・方程式・不等式への応用 ・速度と加速度、近似式 	<ul style="list-style-type: none"> ・平均値の定理を理解し、それを活用することができる。 ・関数の増減・凹凸・変曲点・漸近線などを調べ、関数のグラフをかくことができる。また、それらを利用して関数の最大値・最小値を求め、さらに方程式・不等式への応用ができる。
	5	(確認テスト)	数学III C の入試問題演習を通して実践を積む。	<ul style="list-style-type: none"> ・入試問題演習 ・数学III C の問題を演習し、実践力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習した基本事項、定石を理解しているか確認する。 ・問題の意図を把握・考察し、実践的な問題を解くことができる。
	7	(期末考査)			

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	(期末考査)	標準問題までを確実に解く 力量を養う。 応用力をつける。 難度の高い問題を解く力量 を養う。	入試問題演習 数学ⅢCの問題を演習し、実践力 を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習した基本事項、定石を 理解しているか確認する。 ・問題の意図を把握・考察し、実践的な 問題を解くことができるか。
	10				
	11		数学Ⅲの入試問題演習を通 して実践を積む。		
	12				
三 学 期	1		共通テスト対策と私立・2 次試験対策を行う。		

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

1学期中間考査までは数学Ⅲの授業と並行してスーパー演習(数学)の履修を行う。「第1章 関数」「第2章 極限」「第3章 微分法」「第4章 第1節 1接線の方程式」はおえている。自分で解けるようになって初めて自分の力となる。自力で解くことの大切さを理解し、問題集は自力で解けるようになるまで、何度も同じ問題を解いてほしい。そうすれば、確実に数学の力はついていく。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
スーパー演習（英語）	2	3年・2類	選択
授業担当者	教科書名		副教材等
*****	四訂版アップグレード英文法・語法問題 （数研出版）		入試の過去問、模試プリント等

科目の到達目標
既習の基本的英文法の復習を行いながら、長文の理解を深めていく。基本事項を徹底する

評価の観点と方法について
定期考査と平常点（小テスト、宿題やプリント等への取り組み・提出状況、授業態度等）を加味して総合的に判断する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一 学 期	4	<ul style="list-style-type: none"> ・時制 ・助動詞 ・仮定法 ・態 	各単元で学習する文法項目で復習をし、入試に対応できる基礎学力の定着を徹底的に目指す。	定着度を確実なものとするために、長文で使われた文法と英語表現で学んだ文法を関連させて学習していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復習がなされているか。 ・ ポイントを理解し、運用できるようになったか。
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・不定詞 ・動名詞 ・不定詞 vs 動名詞 			
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・分詞 ・前置詞 ・接続詞 ・関係詞 ・疑問文 ・比較 			
	7	<期末考査>			

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	・否定 ・倒置、省略、代用、 強調 ・主語と動詞の呼応			
	10	・動詞の語法 ・名詞、冠詞 ・代名詞 ・数量表現 ・形容詞			
	11	・形容詞、副詞 入試問題等の演習			
	12	<期末考査>			
三 学 期	1	入試問題等の演習			
	2				
	3				

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

1・2年次に学習した文法事項が基本となります。数多くの文法問題・英文に触れ、運用能力を身につけましょう。受験に向けて、「正答率50%の問題」をしっかりと解けるように、この1年間頑張りましょう。